

085

contents

常設展

雪村展 戦国時代のスーパー・エキセントリック

展覧会予告

年間スケジュール

# 天花

TENGE



中本達也「残された壁(祭壇)」1967年 山口県立美術館

## 常設展

小林和作室

## 「中本達也」

7/9 tue ~ 10/6 sun

## 表紙作品解説

中本達也(1922~1973)「残された壁(祭壇)」1967年  
混合技法・コラージュ・カンヴァス

赤、青、緑、紫、黒の色のかたまりが、白いカンヴァスから鮮やかに浮き立って見えます。そのかたまりのなかには、人間の目や手の形が描かれていて、さらによく見れば、二人の人間が描かれていることがわかります。左上の人物は乳房を露わにし、真ん中の横顔を見せている人物は、その乳房を口に含むようとしています。この二人のしぐさから考えると、彼らは母親と赤ん坊にちがいません。だとすれば、作品の題名の「祭壇」という言葉から想像して、二人はおそらく聖母マリアと幼子イエスということになるのでしょう。

この作品は、色を塗った紙をカンヴァスに貼り付けて作ってあります。そのため、二人の人間像のかたまりが、白い背景からすどく際立ってくるように見えます。破壊され、断片化し、そのまま現代に残された聖母子像。作家はどこかでそんな聖像を目にしたのでしょうか。悲劇的な雰囲気さえ漂うイメージを、作家は独自の方法でみごとに作り上げています。

(斎藤)



香月泰男「運ぶ人」1960年 山口県立美術館蔵

郷土工芸室 「現代の萩焼」7/9~10/6

香月泰男室

「シベリア・シリーズⅡ」7/9~10/6

三隅町出身の香月泰男(1911~74)は、シベリア抑留を経験し、復員後その重い体験を「シベリア・シリーズ」として描きのこしました。当館常設展示では、同シリーズを抑留体験の順を追って紹介しています。今回はシリーズ全57点の中から終戦から捕囚までをモチーフにした作品を選んで展示します。

## 第2常設展示室

「華麗なる花鳥画」8/6~8/25

平安時代から現代にいたるまで、花や草木、鳥たちを愛でる心は日本の美感の中心にありつづけました。日本美術の粋をあらわす花鳥画の世界を、狩野松栄「花鳥図屏風」・雲谷等與「群鶴図屏風」・小田海遷「雪中松鳩・寒中竹雀図」・玉村方久斗「花水木二小禽図」など、近世から近代にいたるまでの優品の数々により紹介します。



狩野松栄「花鳥図屏風」(部分) 山口県立美術館蔵

## 資料展示室

「福島菊次郎」7/9~8/18

「岩宮武二」8/20~10/6

社会の現実を直視しようとするリアリズム写真が一世を風靡していた戦後の写真界において、それに飽きたらず、写真家自身の主観的、表現的な側面をより強調しようとした作家たちが現れはじめました。岩宮武二(1920-89)もまた、そうした写真家のひとりです。マネキンモチーフとしてシュルレアリスム風に表現し一躍脚光を浴びた「マヌカン」をはじめ、当館所蔵の12点を紹介します。



岩宮武二「マヌカン」1955年 山口県立美術館蔵

2002 6/22(土)~7/28(日)

休館日 月曜日  
 開館時間 9時~17時まで(入館は16時30分まで)  
 観覧料 一般1,000(800)円 学生800(600)円  
 ( )内は前売および20名以上の団体料金  
 18才以下・70才以上の方および高等学校、盲・聾・養護学校に在籍される方等は無料  
 前売り券はローソンチケット、チケットぴあ、及び県内各プレイガイドでお求め下さい  
 主催 山口県立美術館、読売新聞西部本社、(株)山口放送局、**KRY**山口放送  
 後援 **FBS**福岡放送、広島テレビ  
 協力 日本航空  
 企画協力 浅野研究所

監修者からのメッセージ

山下裕二(明治学院大学教授)

雪村(せっそん)という画家の名前を聞いて、その絵をすぐにイメージできる人が、どれぐらいいるのでしょうか。もちろん、日本美術史の専門家や、古美術に詳しい人なら、いくつかの絵が思い浮かぶでしょう。おぼろげな人物像も、ご存じかもしれません。

でも、はっきり言っておきます。この展覧会は、雪村の「せ」の字もご存じない人たちにこそ、見てもらいたい。とまかく、400年以上前に、こんなに面白い絵を描いて、それがたくさん伝えられているんだから、まずは見てみませんかーそんな気持ちで、企画しました。もちろん、よくご存じの方にも見てもらいたいのですが……。

(「雪村展」カタログより抜粋)

関連講座

記念講演会

「雪村画の魅力の源泉をさぐる」小川知二(東京学芸大学教授)

7月6日(土) 13:00~14:00

並催 雪舟研究会シンポジウム「雪舟と雪村」 14:30~16:00

会場 山口県立山口図書館レクチャー・ルーム

聴講無料 先着300名(申込不要)

親子で見る雪村展

6月29日(土) 10:00~ 小学校1年~3年生対象

7月13日(土) 10:00~ 小学校4年~6年生対象

参加希望者は往復はがきに氏名・年齢・住所・電話番号をご記入の上、山口県立美術館までお申し込みください。先着10組にて締め切らせていただきます。

学芸員による作品解説

6月23日(日)、30日(日)、7月14日(日) 14:00~



「呂洞賓」(住吉廣行模写)

Q1 老人の持つ壺から出ているのはなに？

Q2

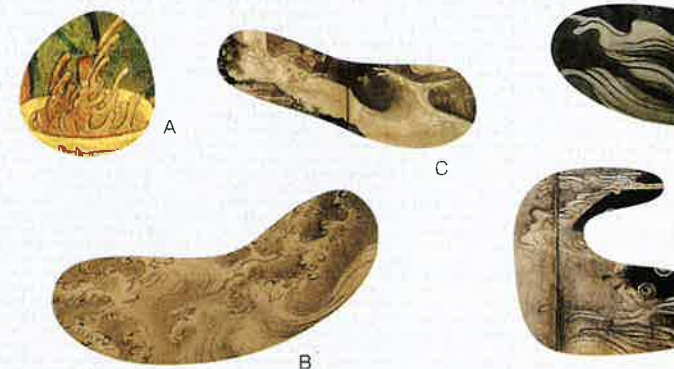
3枚の絵それぞれに雪村のサインが隠されています。さて、どこにあるのか？

(写真ではわからないので、会場で見つけましょう)



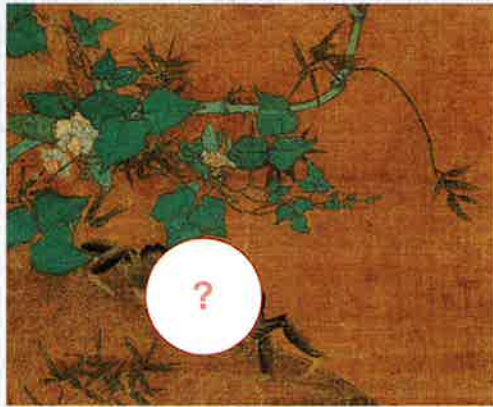
「釈迦・十羅漢」(茨城・善慶寺)

Q5 さて、これはいったい…なに？



A「釈迦・十羅漢」(茨城・善慶寺)、B「宝塔を拜む観音」、C「四季山水」(シカゴ美術館)  
 D「花鳥(梅・柳・鶯・燕・鯉)」(ミネアポリス美術館)、E「蘭山水」(東京国立博物館)

Q3  
ここに描かれているのは  
生き物のようにくねった竹と葛、そして正面顔の○○



「葛・竹に瓢」(群馬県立近代美術館戸方庵井上コレクション)



Q4  
あんな猿やこんな猿、  
どこかで見たような、  
誰かさんに似ているような…

A「猿」(茨城県立歴史館)、B「猿」、C「猿」

Q6 あちこちに隠れている鳥たち。木のかげ、岩のかげに鳥は 何羽いる？



「花鳥(鶯・鶯鶯・梅・芙蓉)」(栃木県立博物館)



「猫に小鳥」

Q7 猫がねらっているものは…

※作品保護のため会期中展示替えがあります。写真のうち、青字の作品は前期(6月22日~7月14日)、緑字の作品は後期(7月16日~7月28日)に展示する予定です。黒字の作品は全会期中展示します。

# 2002-2003

## 特別展

- 4  
4/20~6/2  
モンテ・パイナス デイシエナ銀行、キーン・カヌアガテミー喜劇コレクション
- 5  
**シエナ美術展**  
—世界遺産都市の空想 絵画・彫刻・工芸の精華—
- 6  
6/7~6/16 第25回伝統工芸新作展
- 7  
6/22~7/28  
**雪村展** 戦国時代のスーパー・エキセントリック  
山口県・山東省友好記念事業  
第20回社団法人山口県書道連盟展
- 8  
8/6~8/11  
ふるさとのアーティストたち  
8/16~8/25  
~山口県芸術文化関係表彰の夢みと作品~
- 9  
9/12~9/29  
第6回やまぐち県民文化祭  
**第56回山口県美術展覧会**
- 10  
10/16~11/24  
**ジャン=マルク・ビュスタモント展**
- 11  
12/10~12/15 第55回学校美術展覧会
- 12  
12/20~<sup>2003</sup>2/2  
**マン・レイ写真展**
- 1  
2/6~2/9 山口県立大学卒業制作展  
2/13~2/16 山口大学卒業制作展  
2/20~2/23 山口芸術短期大学卒業制作展
- 2  
2/28~3/9 子どもたちの粘土の未来  
~子どもと、粘土と、創り出す喜びと~

# schedule

山口県立美術館 平成14年度年間スケジュール

## 常設展

4/9			牛陽茂雄 (2)
山口の工芸	寄贈作品展	5/19	
シベリア・シリーズ I		5/21	
			大辻清司
7/7			
7/9	中本達也		福島菊次郎
		8/6	
現代の萩焼			8/18
シベリア・シリーズ II	華麗なる花鳥画		8/20
		8/25	
			岩宮武二
10/6			
10/8	雪舟派と雲谷派 (1)		植田正治
		11/17	
萩の茶陶			11/17
シベリア・シリーズ III		11/19	
			11/19
	雪舟派と雲谷派 (2)		本庄光郎
1/5			
1/7	宮崎進展		林忠彦
		2/9	
前衛陶芸			2/9
シベリア・シリーズ IV		2/11	
			2/11
	小林和作と 松田正平		金井精一
3/30			

## Information

### ■休館日

毎週月曜(特別展会期中の月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)  
年末年始(12月28日~1月3日)  
10月14日、2月11日、3月21日

### ■開館時間

9:00~17:00(入館は16:30まで)

### ■料金

常設展: 一般190(160)円 学生120(100)円

( )内は20名以上の団体料金

特別展: 別途に定めた料金

常設展・特別展ともに18歳以下と70歳以上および高等学校、  
盲・聾・養護学校に在学する方は無料。

教育文化週間11月1日~11月7日は全ての方が無料。

山口県立美術館  
The Yamaguchi Prefectural  
Museum of Art

〒753-0089

山口市龜山町3-1

TEL: 083-925-7788

FAX: 083-925-7790

http://www.pref.yamaguchi.jp/4yamaart.htm

